

ガスふろ給湯器 ニューシャワコ-15

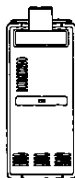
取扱説明書

商品コード

31-959型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器 ニューシャワコ-15 をお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。



○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

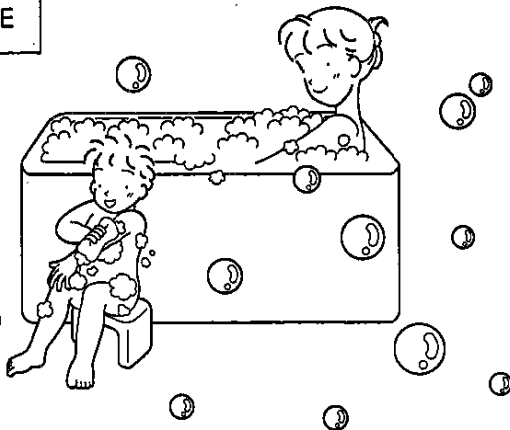
○別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

型式名

YV1624RE



本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎06 (586) 3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎0722 (38) 1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎0726 (71) 0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎0729 (62) 1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎078 (360) 3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1番地	☎075 (311) 7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎0742 (44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎0734 (31) 2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎0792 (85) 2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎0796 (23) 2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎0775 (62) 5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎0749 (22) 3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎0749 (62) 7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎06 (202) 2221

大阪ガス株式会社

大阪ガス

T845

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して) 大阪ガス支社またはサービスショップに連絡してください。

1. 使用前に

- 各部のなまえとはたらき 10~13
 - ・リモコンについて 11~13 (台所・浴室・増設リモコン)
- 安全装置について 14

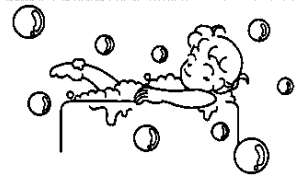
2. 使いかた

- はじめてお使いになるときは 15~16
 - ・運転前の準備と確認 15~16
 - ・現在時刻の合わせかた 15~16
- お湯の出しかた 17~20
 - ・お湯の出しかた 17~18
 - ・優先表示について 19
 - ・給湯設定温度の記憶について 20
- 湯はりのしかた 21~24
- おふろの温度調節 25~26
- 湯はり予約のしかた 27~28
- 保温のしかた 29~30
- 残り湯の沸かしかた 31~33
- 他のリモコンを呼出したいとき 34
- 凍結予防のしかた 35~36

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ 37~38
 - ・点検 37
 - ・お手入れ 38
- 故障かな?と思ったら 39~41
- アフターサービス 42
- 仕様 43

もくじ



使用前に

特に注意していただきたいこと



各部のなまえとはたらき

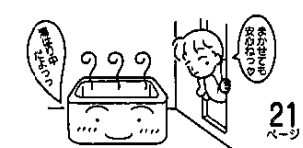


使いかた

お湯の出しかた



湯はりのしかた



おふろの温度調節



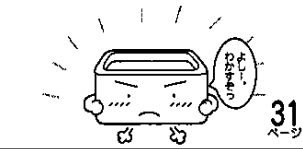
湯はり予約のしかた



保温のしかた



残り湯の沸かしかた

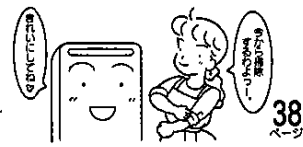


点検・お手入れ・故障かな?と思ったら

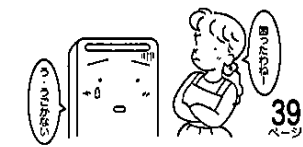
点検のしかた



お手入れのしかた



故障かな?と思ったら



アフターサービス・その他

●機器の仕様は、スタンダードタイプとデラックスタイプがあり、ご使用のリモコンの商品コードで確認ができますので、ご確認ください。

	浴室リモコン	台所リモコン	増設リモコン
デラックスタイプ	36-566	36-567	38-791
スタンダードタイプ	36-568	36-569	






特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。












☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含まれます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	感電注意
	高温注意
	発火注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う
	アース必要

危険


■機器の設置について

屋外用機器のため、屋内には絶対に設置しない。



禁止




 不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

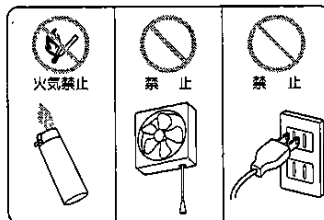
警告

■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～②の処置を行う。

また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇などの)スイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しはしない。

 火や火花で引火し、火災になるおそれがあります。



① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。



閉じる



② 販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。



連絡する



警告

■機器の設置について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、有資格者による工事を行う。

☒ 思わぬ事故の原因になります。

■使用ガス・電源について

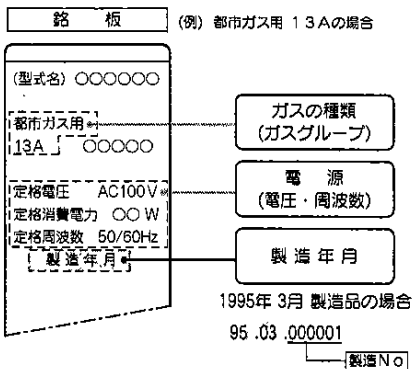
- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

☒ 火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

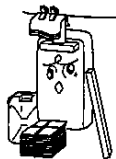
わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



警告

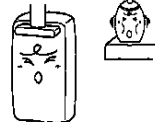
- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。

☒ 火災のおそれがあります。



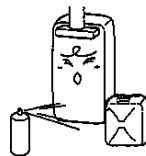
- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

☒ 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



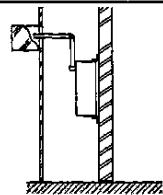
- 機器の近辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

☒ 火災のおそれや機器の故障の原因になります。



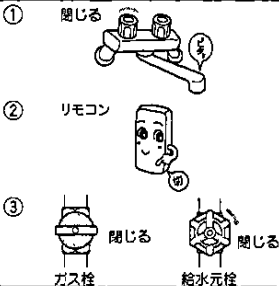
- 機器設置後、排気トップ周囲を囲ったりしない。

☒ 火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。



- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

- ① 給湯栓を開じる。
- ② リモコンの運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス栓・給水元栓を開じる。



警告

- 給湯およびシャワーを使う場合、再使用時や湯量を変化させた時などに熱いお湯が出ることがあるため、直接体にかげずに、手でお湯の温度を確かめてから使用する。

☑ やけどのおそれがあります。



高温注意

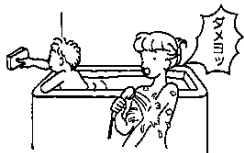


- 給湯およびシャワー使用中は、使用者以外は、お湯の温度を変更しない。

☑ 熱水によるやけどのおそれがあります。



禁止



- ふるアダプター付近に潜ったりしない。特に小さなお子さまのいるご家庭では、注意する。

☑ 思わぬ事故の原因になります。



禁止



- ふるを沸かすときは

※デラックスタイプ…スイッチを押すときは
※スタンダードタイプ…スイッチを押すときは

浴そうの水位がふるアダプターより上にあることを確認する。

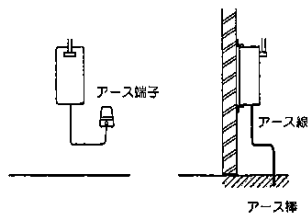
☑ やけどのおそれや浴そうの損傷の原因になります。

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

☑ 万一、機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



アースする!



注意

- 排気ガスによって、加熱されて困るもの(植木・ペットなど)は、排気トップのそばには置かない。

☑ 植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

- 給湯、湯はり、追いだし、シャワー以外の用途に使用しない。

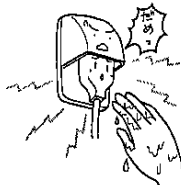
☑ 思わぬ事故の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

☑ 感電のおそれがあります。



感電注意



- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。

☑ やけどのおそれがあります。



接触禁止



- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かない。

☑ 電源コード断線(芯線の一部)による発熱や発火の原因になります。



禁止



- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

☑ プラグにほりごりが付着していたり、差し込みがゆるいと火災や感電のおそれがあります。



お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

リモコンの燃焼表示を確認してください。
(15ページからの「使いかた」を参照)

- 使用中も、ときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの(別売部品)以外は使用しないでください。

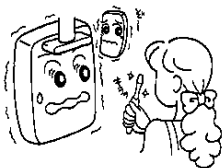
- 本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。

著しく寿命が短くなります。

- 機器およびリモコンの分解は絶対にしてしないでください。



分解禁止



- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

37ページの「点検とお手入れ」を参照してください。

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯(洗面器一杯程度)は飲用や調理用には使用しないでください。
急のために雑用水として使用してください。

- 長期間使用しない場合は、万一のガス漏れや凍結を防止するため、ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。

36ページの「凍結予防のしかた(機器内の水を抜く方法)」を参照してください。



聞じる



ガス栓

- 断水時は給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。また、再通水したときは、15ページからの「使いかた」に従って操作してください。

- 外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。35ページの「凍結予防のしかた」を参照し、処置を行ってください。

凍結による機器・配管の修理は有料です。

お願い

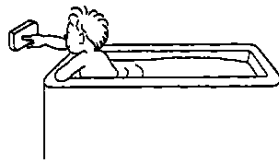
危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。



禁止

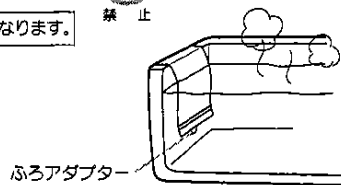


- ふろアダプターをタオルなどでふさがないでください。

機器の故障や恐ろしい事故の原因になります。



禁止



お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

- 増改築などにより、線入・納入板ガラスを排気トップの近くに取り付けしないでください。

排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。15ページからの「使いかた」に従って、操作してください。

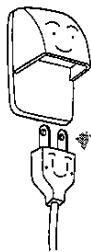
- 湯はり・追いだき中に停電すると、ふるアダプターから水が流れっぱなしになりますので、給水元栓を閉じてください。

- デラックスタイプのリモコンを使用されている場合は、時刻・予約時刻ともリセットされますので、通電後15～16、27～28ページに従って、再度時刻・予約時刻を合わせてください。

- 雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。
(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にしてください。)

電子部品が故障する原因になります。

- 雷が過ぎかかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。
(または、機器用屋内ブレーカーを「入」にしてください。)

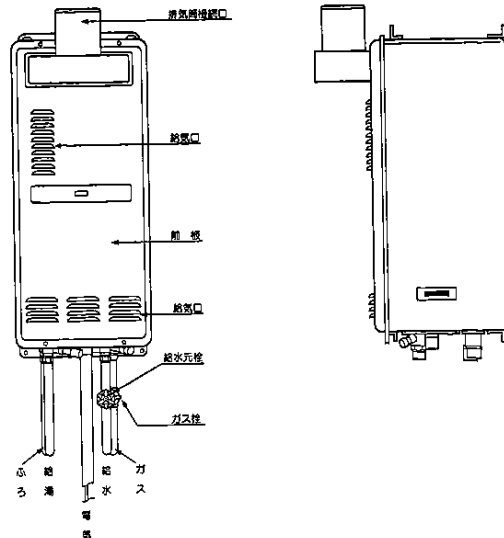


電源プラグを抜く

各部のなまえとはたらき

機器本体

31-959型



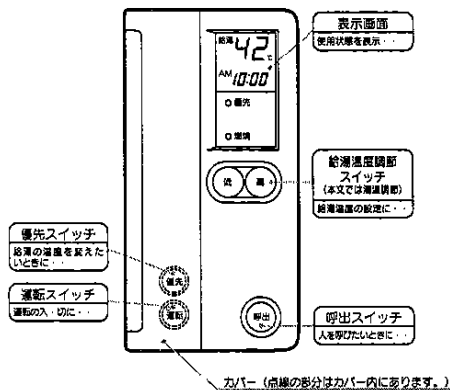
特長

- 万一の異常をお知らせするOKモニター付。
- 給湯・ふろの設定温度が一目でわかるデジタル表示。
- 空だき、湯アカの心配がないニュージェットフロー。
- 浴そう内の温度差がほとんどなく沸きあがる。

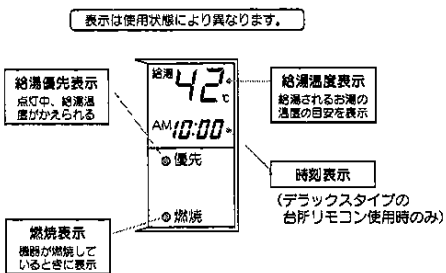
各部のなまえとはたらき

増設（サブ）リモコン [別売部品]

38-791型



表示画面



安全装置について

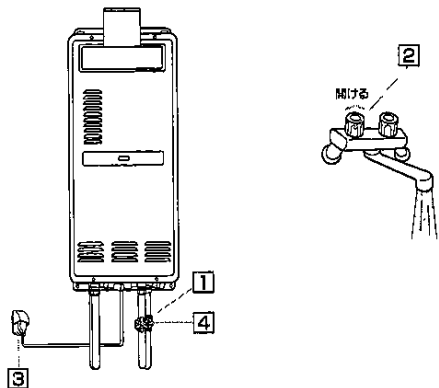
安全装置の種類とはたらき

安全装置	作動理由	はたらき (現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。 (機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへ連絡してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへ連絡してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差ししてから使用してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に溜まったヒーターが作動し凍結を予防します。	凍結予防のしかたもご確認ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の過し弁より圧力を逃すためお湯がでます。給湯栓を閉じたあともお湯がでることがあります。	床面をぬらしますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに相談してください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへ連絡してください。

はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認 ①～③ の手順で行ってください。



① 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

② 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水が出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

③ 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、
機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」にする。

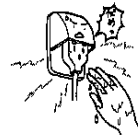
④ ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

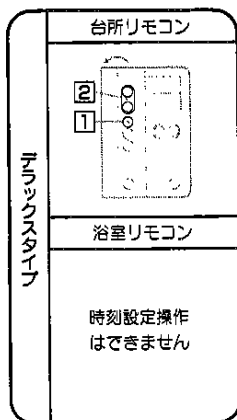
⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない。

⚡ 感電のおそれがあります。



現在時刻の合わせ方 [デラックスタイプの台所リモコン (36-567) 使用時のみ]



① 時計スイッチを押す



時計スイッチを押した後、
約10秒以内に「時・分スイッチ」
を押さないと自動的に時刻を刻み始めます。

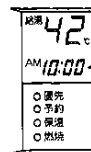


初めて時計スイッチを押したときは、12:00が表示されます。

② 時・分スイッチを押す

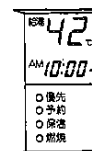


約10秒後ランプが消えて時刻を刻み始めます。



現在時刻に

午前(AM)と午後(PM)を間違えないように



：が点滅し、時刻を刻み始めます。

お湯の出しかた

警告

● 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。



- 他の人が給湯およびシャワーを使用しているときにリモコンのお湯の温度を変えない。
- お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。



禁止

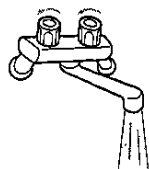


☑ やけどのおそれがあります。

☑ やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞りすぎたときや水温が30℃に近いときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



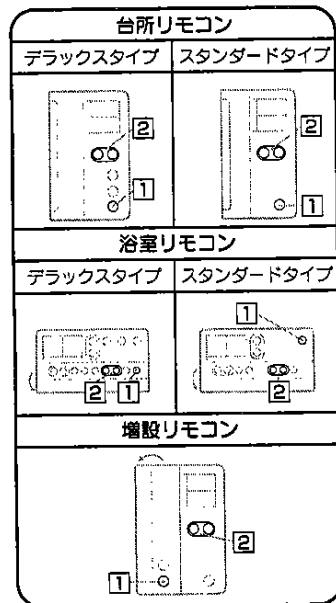
1～4 の手順で行ってください。

1 運転スイッチを押す

2 湯温調節スイッチを押す

3 お湯を出す

4 お湯を止める



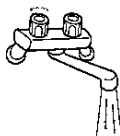
表示は台所リモコンの例です。表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



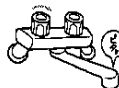
(ぬるくするとき) (あつくするとき)

優先表示が点灯していることを確認してください。消灯している場合は19ページの〈優先表示の切り替えかた〉に従い、使用するリモコンを優先にしてください。

給湯栓を開ける



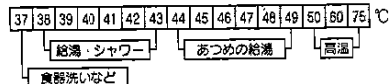
給湯栓を閉じる



一度設定すると記憶します。

給湯設定温度について

■ はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。



- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり電子音「ピッピッ」でお知らせします。
- 「高」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃、75℃にするときは、もう一度押ししてください。

お湯の出しかた

警告

- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼表示が消灯していることを確認する。
 - 燃焼表示が点灯している時の優先の切り替えはしない。
 - 使用する前に、リモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。
- ※浴室リモコンだけで使用されている場合、優先表示が消灯の状態では高温出湯となります。
必ず使用前に表示温度を確かめ、用途に応じたお湯の温度で使用してください。

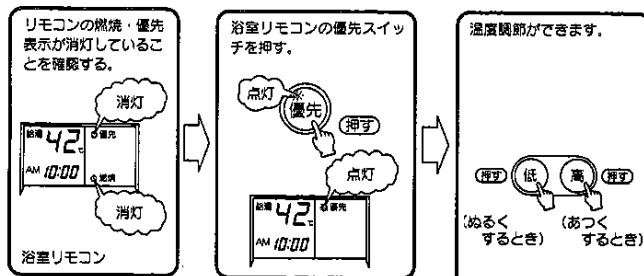
☑ やけどのおそれがあります。

優先表示について

- 優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

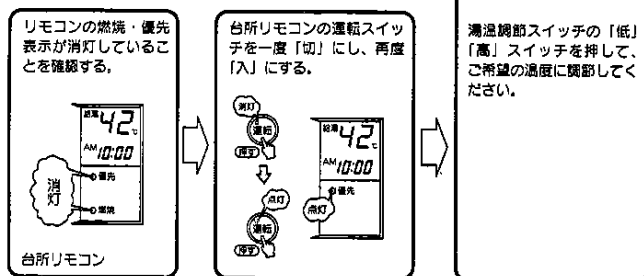
優先表示の切り替えかた

(浴室リモコンを優先にしたいとき)



ご使用の準備完了

(台所リモコンを優先にしたいとき)



警告

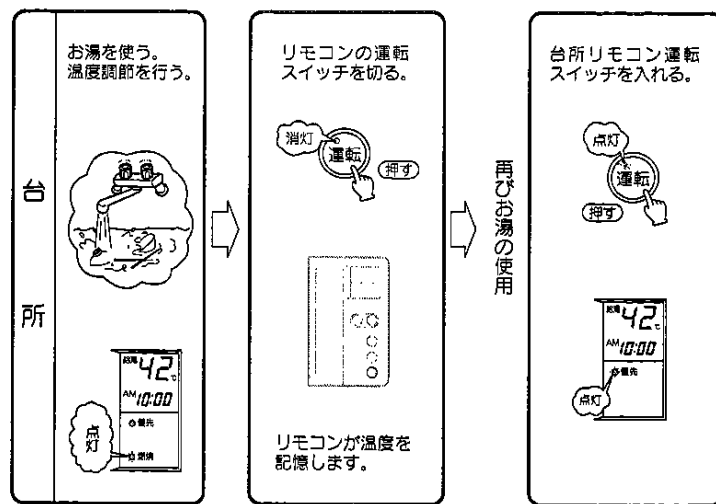
前回は設定したお湯の温度を記憶しているため、高温(60℃・75℃)で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。

☑ やけどのおそれがあります。



給湯設定温度の記憶について (各リモコンで最後に設定された温度を記憶します。)

- 台所リモコンで紹介をしますが、浴室リモコンでも同じ操作方法です。



給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり電子音「ヒッピッ」でお知らせします。

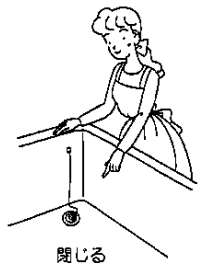
湯はりのしかた

運転前の準備

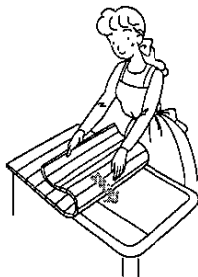
●湯はり温度、湯量は浴室リモコンで設定します。

浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる



- 浴そうのふたをする

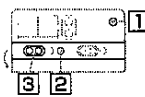


湯はり温度の設定

デラックスタイプ



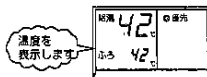
スタンダードタイプ



- 1 運転スイッチを押す



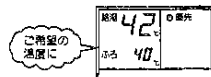
- 2 温度スイッチを押す



- 3 風呂設定スイッチを押す



ぬるくするとき あつくするとき



約10秒後ランプが消えて設定完了です。

湯はり温度について

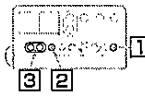
- はじめて使用するとき
湯はり温度は42℃に設定されています。

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
℃											
ぬるめ			ふつう			あつめ					

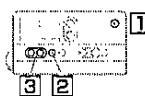
- 表示されている温度は設定温度で実際の湯はり温度とは、浴そうの種類や配管条件などにより、多少異なりますのでめやすとしてください。
- 一度、湯はり温度を設定すると記憶します。ただし約5分以上の停電後は42℃設定にもどります。

湯はり湯量の設定

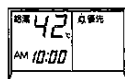
デラックスタイプ



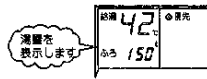
スタンダードタイプ



- 1 運転スイッチを押す



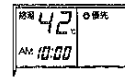
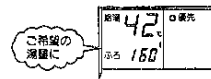
- 2 湯量スイッチを押す



- 3 風呂設定スイッチを押す



少なくするとき 多くするとき



約10秒後ランプが消えて設定完了です。

湯はり湯量について

- はじめて使用されるとき
湯はり湯量は150ℓに設定されています。

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約160ℓ	約190ℓ	約240ℓ

- お湯はり湯量は10ℓ～640ℓまでの設定ができます。
- 湯量スイッチを1回押すごとに10ℓづつ設定湯量が増えます。
- 表示されている湯量はめやすとして使用してください。
- 一度、湯はり湯量を設定すると記憶します。

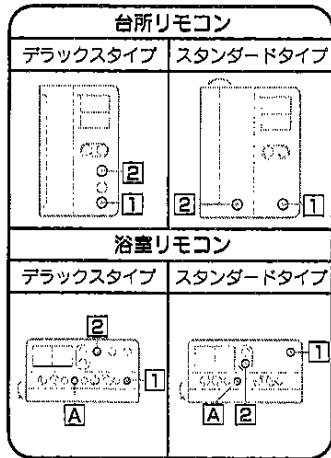
湯はりのしかた

1 ~ 2 の手順で行ってください。

1 運転スイッチを押す

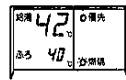
2 湯はりスイッチを押す

湯はり完了!



表示は浴室リモコンの例です。

■湯はり運転中に給湯・シャワーを使用すると、湯はり運転は一時停止（給湯割込ランプ点灯）となります。給湯・シャワーを使用した後、湯はり運転を再開します。



湯はり温度は約10秒間表示し、自動的に時刻表示にもどります。（デラックスタイプの台所リモコン使用時のみ）

■給湯設定温度について
 ■浴室リモコンのカバーを開け、温度スイッチ（A）を押すと、設定されている湯はり温度を約10秒間表示します。

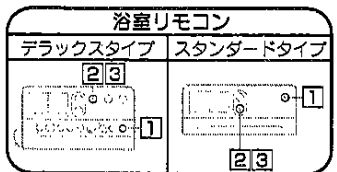


- 設定された温度、満量になると自動的に停止します。
- 湯はりが完了すると電子音でお知らせします。

●途中で止めたいときは、湯はりスイッチを再度押してください。

ワンポイントアドバイス

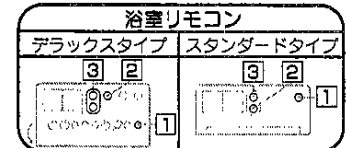
■お湯をふやしたいとき（浴室リモコンで操作してください。）



1 運転スイッチを押す 2 湯はりスイッチを押す 3 湯はりの停止
 湯量が満量になれば、湯はりスイッチを再度押してください。



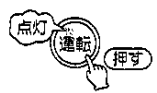
■ちょっとあつめの湯はりのしかた（設定温度が約2°C高くなります。）
 ■ちょっとぬるめの湯はりのしかた（設定温度が約2°C低くなります。-デラックスタイプのみ）



1 運転スイッチを押す 2 湯はりスイッチを押す 3 あつくまたはぬるくスイッチを押す
 あつくまたはぬるく湯はりが完了!

スタンダードタイプは「ぬるめ」の湯はり操作はできません。

「あつめ」の場合はあつくスイッチ「ぬるめ」の場合はぬるくスイッチを押してください。



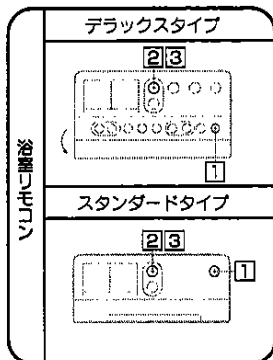
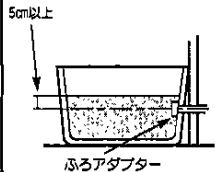
湯はりが完了すると電子音でお知らせします。

お風呂の温度調節

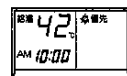
お風呂のお湯をあつくしたいとき（追いだし）

運転前の確認

浴そう内のお湯が適量に入っているかどうかを確認してください。



1 運転スイッチを押す



2 あつくスイッチを押す



3 あつく運転の停止



デラックスタイプ

- 約10ℓ（約2分間）の高温差し湯をし、自動的に停止します。
- 途中で停止させたいときは再度あつくスイッチを押してください。

スタンダードタイプ

△注意

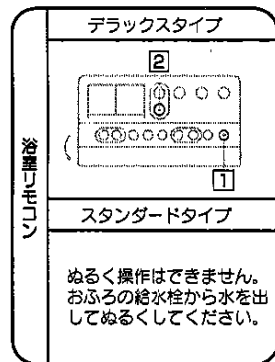
- 自動的に停止しません。湯温が適温になれば再度あつくスイッチを押してください。

☒ やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

- 追いだしは高温水（約90℃）を差し湯する方式ですから浴そうの水位が上がってきます。
- 浴そうの種類や湯温などにより、適温になるまでの水位の増えかたが異なります。
- 浴そうのお湯が多すぎると、浴そうからお湯があふれることがあります。

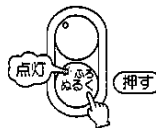
お風呂のお湯をぬるくしたいとき（デラックスタイプのみ）



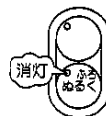
1 運転スイッチを押す



2 ぬるくスイッチを押す



ぬるく運転完了！

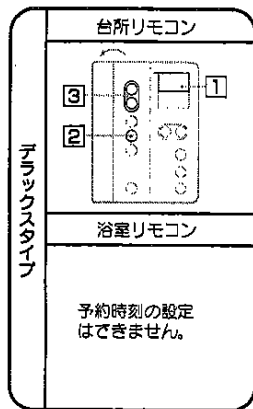


- 約10ℓの水が注水され、自動的に停止します。
- 途中で停止させたいときは、再度ぬるくスイッチを押してください。

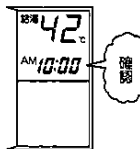
湯はり予約のしかた

(デラックスタイプの
台所リモコン (36-567)
をご使用の場合のみ)

湯はり予約時刻の設定



1 現在時刻の確認



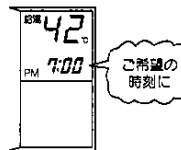
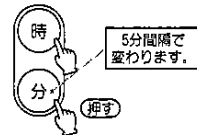
時刻が合っていないときは、15ページの「現在時刻の合わせかた」を参照し、時刻を合わせてください。

2 予約スイッチを押す



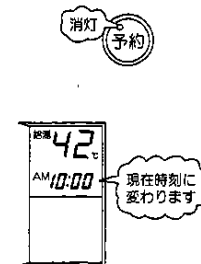
初めて時計スイッチを押したときは、12:00が表示されます。

3 時・分スイッチを押す



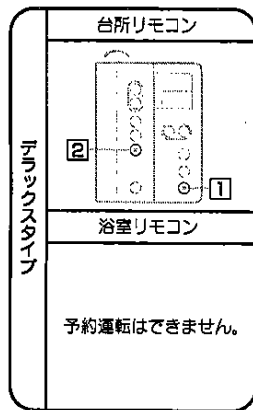
午前(AM)と午後(PM)を間違えないように

約10秒後ランプが消えて設定完了です。



各スイッチ操作の間隔が10秒以上になると自動的に現在時刻表示にもどります。

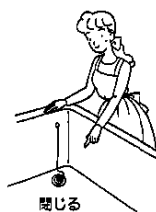
予約運転のしかた



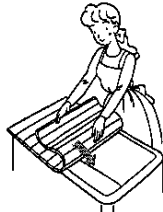
運転前の確認

浴そうの確認

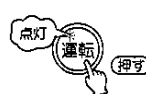
- 浴そうの排水栓を閉じる
- 浴そうのふたをする。



閉じる



1 運転スイッチを押す



2 開始スイッチを押す



約10秒間予約時刻を表示します。



湯はり運転完了!

- 予約設定された時刻になれば湯はりが完了します。
- 電子音で湯はりの完了をお知らせします。

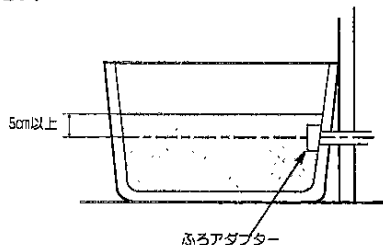
- 予約、湯はり運転中に給湯・シャワーを使用すると湯はり運転は一時停止となります。
- 給湯・シャワーを使用後に運転を再開するため、湯はり完了時刻が少し遅れることがあります。

保温のしかた (デラックスタイプのみ)

運転前の準備

浴そう内の湯量の確認

浴そう内の湯量が、適量かどうか確かめてください。



湯量が少ないとき

- 23ページの「ワンポイントアドバイス」を行い、浴そう内の湯量を適量にしてください。

警告

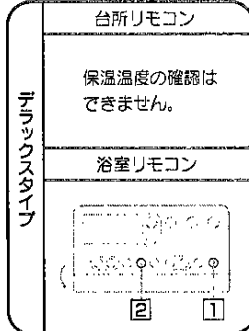
浴そう内の湯量が少ない状態で保温運転をしない。

- ☑ 熱湯が出て、やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

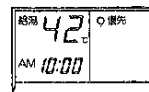
- 保温運転中は湯量が増えてきますので、ときどき浴そうの水位を確認してください。
- 浴そうからお湯があふれることがあります。

保温温度の確認

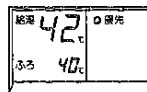


保温温度を変更したいときは21ページの「湯はりのしかた」を参照してください。

1 運転スイッチを押す

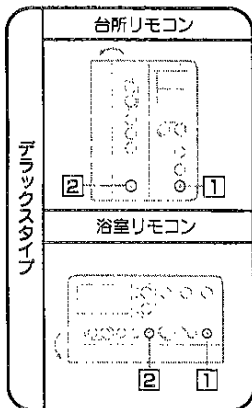


2 保温温度の確認

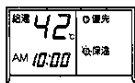


温度スイッチを押すと約10秒間表示します。

保温運転のしかた



1 運転スイッチを押す 2 保温スイッチを押す



保温中は運転スイッチを切らないようにしてください。

保温運転の停止

表示画面の保温ランプが点灯してから約4時間後に自動停止します。



途中で保温運転を停止させたいときは、保温スイッチを再度押してください。



保温運転の便利な使いかた

- お湯はり完了後、自動的に保温運転にすることが出来ます。

23ページの手順に従って、湯はりスイッチを押した後、つづけて保温スイッチを押してください。

- また、残り湯を沸かし上げた後も自動的に保温運転にすることが出来ます。

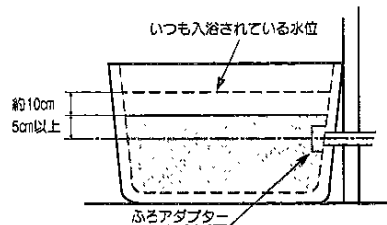
31ページの手順に従って、適温スイッチを押した後、つづけて保温スイッチを押してください。

残り湯の沸かしかた (デラックスタイプ)

運転前の準備

浴そう内の湯量の確認

浴そう内の湯量が適量かどうかを確認してください。



沸かし上げると湯量が増えますのでいつも入浴されている水位より、約10cmぐらい低めにしてください。ただし、ふろアダプターからは5cm以上の水位としてください。

浴そうからお湯があふれることがあります。

湯量が少ないとき

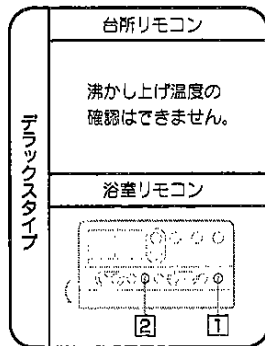
- 23ページの「ワンポイントアドバイス」を行い、浴そう内の湯量を適量にしてください。

警告

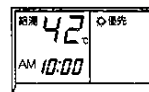
浴そう内の湯量が少ない状態で残り湯を沸かさなさい。

- ☒ 熱湯が出て、やけどのおそれがあります。

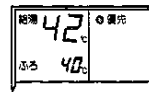
沸かし上げ温度の確認



1 運転スイッチを押す



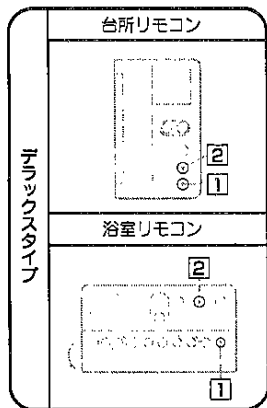
2 沸かし上げ温度の確認



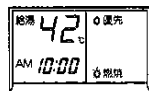
温度スイッチを押すと約10秒間表示します。

残り湯の沸かしかた (デラックスタイプ)

1 運転スイッチを押す



2 適温スイッチを押す



沸かし上げ完了!

沸かし上げが完了すると電子音でお知らせします。

高温水を直接送り込んで、沸かす方式になっていますので多少湯量が増えます。

途中で適温運転を停止させたいときは、適温スイッチを再度押してください。



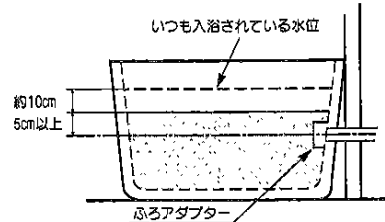
残り湯の沸かしかた (スタンダードタイプ)

他のリモコンを呼び出したいとき

運転前の準備

浴そう内の湯量の確認

浴そう内の湯量が適量かどうかを確認してください。



沸かし上げると湯量が増えますのでいつも入浴されている水位より、約10cmぐらい低めにしてください。ただし、ふるアダプターからは5cm以上の水位としてください。

浴そうからお湯があふれることがあります。

湯量が少ないとき

- 23ページの「ワンポイントアドバイス」を行い、浴そう内の湯量を適量にしてください。

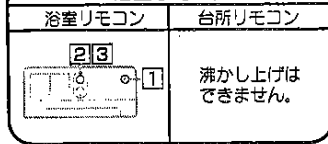
警告

浴そう内の湯量が少ない状態で残り湯を沸かさず。

- ☑ 熱湯が出て、やけどのおそれがあります。

残り湯の沸かしかた (スタンダードタイプ)

浴室リモコン



沸かし上げはできません。

注意

- 自動的に停止しません。湯温が適温になれば再度あつくスイッチを押してください。

- ☑ やけどのおそれがあります。

1 運転スイッチを押す



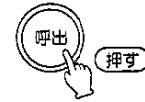
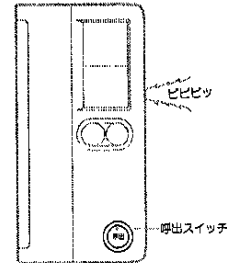
2 あつくスイッチを押す



3 あつく運転の停止

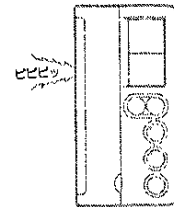


増設リモコン



台所リモコン

浴室リモコン (デラックスタイプのみ)



- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。(押し続けているとその間鳴り続けます。)
- デラックスタイプは浴室からも他のリモコンに呼び出し音を出すことができます。

凍結予防のしかた

❶ 冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 電源プラグが差し込まれていることを確認する。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーが「入」になっていることを確認する。)



リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

❷ 冷え込みが厳しいときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」またに、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

もし凍結して水がでないとき

- 1 リモコンの運転スイッチを切る。
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

通水による方法 (冷え込みが厳しいとき)

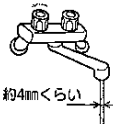
- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 リモコンの運転スイッチを切る。



- 3 ガス栓を閉じる。



- 4 給湯栓より水を少量流す。(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

- ❸ 外気温が低くなるおそれのあるときは、
- ❹ 浴そうのお湯を最後の入浴後に必ず
- ❺ 排水してください。

機器内の水を抜く方法 (長期間使用しないとき 冷え込みが厳しいときなど)

⚠ 注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。

❶ やけどのおそれがあります。

- 1 浴そうのお湯を排水する。

- 2 電源プラグを抜く。
機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にする。

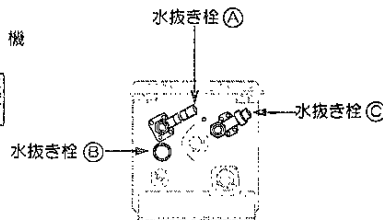
※電気が遮断されて因るような、電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。

- 3 ガス栓を閉じる。

- 4 給水元栓を閉じる。

- 5 すべての給湯栓を全開にする。

- 6 水抜き栓(A)(B)(C)を左に回して取り外す。



(機器底面)

再び使用するまでそのまましておく

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。機器からの排水量は約850ccですので、適切な容器を準備してください。

再度ご使用になるとき

- 1 水抜き栓(A)(B)(C)をしっかりと取り付ける。
- 2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。
- 3 必ずすべての給湯栓を閉じてから15ページからの「使いかた」に従って使用してください。

点検・お手入れ


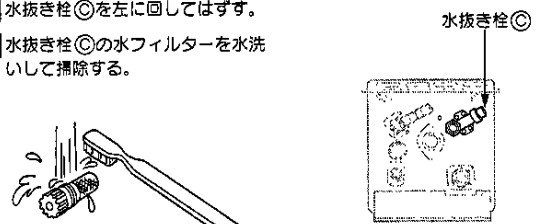
点検

	点検のしかた	処置
機 器 お よ び 周 辺	機器の周りや排気筒、排気口のそばに燃えやすいものを置いていませんか？	燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどありませんか？	
	機器の外観に異常ありませんか？ 排気トップ、排気口および給気口にほこりや、変色したあとがありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡してください。
	機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありませんか？	

定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2~3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
この場合は、有料となります。

お手入れ

	お手入れのしかた	
機 器 本 体 ・ リ モ コ ン	<p>固くしぼった布で汚れをふきとってください。</p> <p>ベンジンやシンナーなどは使わないでください。</p> <p>機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。</p> <p>リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。</p> <p>リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。</p>	
水 フ ィ ル タ ー	<ol style="list-style-type: none"> 1 給水元栓を閉じる。 2 水抜き栓◎を左に回してはずす。 3 水抜き栓◎の水フィルターを水洗いして掃除する。 	 <p>(機器底面)</p>

故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●リモコンの運転ランプが点灯しない。 (時計表示が消えている。)	●停電していませんか？	9
	●漏電安全装置が作動していませんか？	14
●給湯栓を開いてもお湯にならない(水のまま)	●停電していませんか？	9
	●漏電安全装置が作動していませんか？	14
	●ガス栓が全開になっていますか？	15
	●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	15
●給湯栓を開いても水がでない。	●断水していませんか？	7
	●凍結していませんか？	35
●高温のお湯がでない。	●湯温調節は適切でしょうか？	17
	●ガス栓が全開になっていますか？	15
●低温のお湯がでない。	●湯温調節は適切ですか？	17
	●機器の水フィルターが詰まっていますか？	38
	●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	15
●湯はり・追いだきが止まらない。	●停電していませんか？	9
	●漏電安全装置が作動していませんか？	14
●使用中、湯温が極端に変動する。	●ガス栓が全開になっていますか？	15
	●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	15
●お風呂のお湯がぬるい。	●ふろ温度設定は適切ですか？	21
	●ガス栓が全開になっていますか？	15
●お風呂のお湯があつい。	●ふろ温度設定は適切ですか？	21
	●給水元栓が全開になっていますか？	15
	●機器のフィルターが詰まっていますか？	38

●以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。

■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●給湯栓を絞ったら水になる。	●給湯栓からのお湯が1分間に約3リットル以下になると消火します。
●給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	●機器から給湯栓までの距離があるので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
●お湯が白く濁っている。	●白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
●低温のお湯がでない。	●裏場などの水温が高い場合には、低温のお湯を少輸出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか水と混ぜて使用してください。
●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音(ブーン)がする。	●再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間(約7分間)ファンがまわる音です。
●給湯設定温度が75℃から60℃に変わる。	●リモコンの優先スイッチを押ししたり、運転スイッチをいったん「切」にすると安全のために60℃に変わります。
●給湯(湯はり)設定温度が40℃(42℃)にかわっている。	●約5分以上の停電が起きたときは、停電前の給湯(湯はり)設定温度にかかわらず40℃(42℃)にかわります。再度設定しなおしてください。
●停電復帰後にお湯がでない。	●お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電してもリモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
●湯はり・追いだき開始時に浴そうのふるアダプターから「ポコッ」という音がする。	●ふる配管中にたまった空気がふるアダプターよりしばらくの間出てくるためです。
●寒い日に排気トップから白い煙がでる。	●冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
●湯はり・追いだきが断続的に運転する。	●給湯と同時使用すると湯はり・追いだきが待機中となるためです。

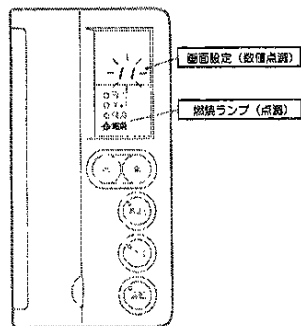
故障かな?と思ったら

異常報知 (OKモニター) をお調べください。

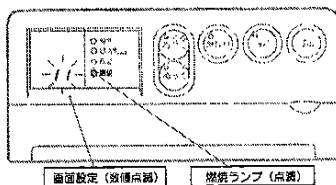
- 機器に不具合が生じると、リモコン表示画面の時刻表示部が下記のように2けたの数字と燃焼ランプが点滅します。

(デラックスタイプの例)

台所リモコン



浴室リモコン



画面表示	内容	処置方法
11	バーナー点火せず	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして、表示が出なければ正常です。
12	バーナー途中消火	
14	過熱防止装置の作動	
31	給湯温度測定装置の不具合	
32	給水温度測定装置の不具合	
51	ガス電磁弁系統の不具合	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
71	電装部品の不具合	
76	リモコン系統の不具合	

- 処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 39ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガスふる給湯器 (ニュージェットフロー16)
2. 大阪ガス商品コード 例 **(N)31059(U)**
(機器前面右下に貼付してあります) **大阪ガス株式会社 (01)**
3. リモコンのコード番号 例 デラックスタイプ台所リモコンの場合…36-567
(リモコンのラベルに表示しています)
4. 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
5. ご住所・お名前・電話番号・連絡 (できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス (数種類) およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は修理 (有料) いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕 様

メ モ

品 名	ガスふる給湯器 (ニュージェットフロー-16)		
商 品 コ ー ド	31-959型		
型 式 名	YV1624RE		
種 類	給 (出) 湯方式	先止め式	
	給 排 気 方 式	屋外式	
点 火 方 式	連続スパーク、ダイレクト着火		
最 低 作 動 水 量	3.0ℓ/分 [作動水圧 14.7 kPa (0.15kgf/cm ²)]		
排 気 温 度	260℃以下		
外 形 寸 法	615mm×250mm×250mm		
重 量 (本体)	21kg		
接 続	給 水	15A (R1/2)	
	給 湯	15A (R1/2)	
	ふ ろ	15A (R1/2)	
	ガ ス	15A (R1/2)	
	電 気	C31 (電線管ねじ)	
電 気	使 用 電 源	AC100V (50/60Hz共用)	
	消 費 電 力	73W	
	凍 結 予 防 運 転 時	80W	
安 全 装 置	立消え安全装置 (フレームロッド方式) 水量センサー・過熱防止装置・残火安全装置 過昇温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置 (漏電遮断器) 凍結予防装置 (水抜き栓、凍結予防ヒーター)		
付 属 品	●木ねじセット ●取扱説明書 ●工事説明書		
別 売 部 品	●浴室リモコン ●台所リモコン ●増設リモコン ●ふるアダプター ●低温作動弁セット ●パキユーム移動セット ●異音警		

使 用 ガ ス グ ル ー プ	1時間当たりの ガス消費量 kW	出 湯 能 力 ℓ / 分 (ガス消費量最大時)		
		上 昇 温 度		
		25℃	40℃	
都 市 ガ ス	13 A	34.9 (30,000kcal/h)	14 (16.0)	10.0
L P ガ ス		34.9 (2,500kg/h)	14 (16.0)	10.0

- 備 考
- 出湯能力は給水圧力98.1kPa (1kgf/cm²) とし、
 - ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき、
 - 出湯能力 () 内は、湯水混合栓で混合した場合の数値です。